

平成29年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第2学年

|         | 学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)  | 授業改善のための具体策(重点)   |
|---------|--|---|
| 国語      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習を通して課題を解決する力はあるが、話す技術を身につけたい。</li> <li>・グループ学習において個人の課題が明確ではない場面が見られた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループのリーダーが全ての課題をこなしてしまうのではなく、一人一人が自分の課題として向き合えるよう、課題を明確に提示し、取り組ませる。</li> </ul>  |
| 数学      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取りや推測するちから。</li> <li>・空間図形をとらえる力不足。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や公式を学ぶ授業ではなく、理由や根拠を明確にすることに取り組ませる。</li> </ul>   |
| 社会      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心意欲は高いが、基礎的な知識に結びついていない。</li> <li>・思考判断表現力の向上。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣も身につけさせて知識理解の向上を図り、授業では考えたことを表現させる。</li> </ul>   |
| 理科      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心、意欲、態度は高い。</li> <li>・知識理解が都を下回る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説を立て、討論をする授業に意欲的に取り組むようになってきたので、内容を吟味し、さらに意欲を上げると共に、小テストを繰り返しおこない定着をはかる。</li> </ul>  |
| 音楽      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞など感じたことを言葉で表現し、伝える力が弱いこと。</li> <li>・表現力に個人差があり、一つの合唱を作り上げる際に力の差が大きく出ること。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループやパート内での意見交換から、言葉で表現することに慣れたり、他者の良いところを積極的に取り入れたりするよう展開を工夫する。</li> </ul>   |
| 美術      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と鑑賞を有機的に結びつけて、仲間の作品についても肯定的な視点で捉え、作者の思いを感じ取ろうとする鑑賞力。</li> <li>・感じたこと、考えたこと、鑑賞したことなどを自分の言葉で的確に表現すること。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作カードへの記入など言葉で考えることを通して、制作過程の振り返りをより深めさせる。また、完成作品について批評をし合うなど、言語活動を取り入れ、言語能力や鑑賞力の向上を図る。</li> </ul>  |
| 保健体育    | <p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を崩し、見学する生徒が多い。</li> <li>・コツコツと努力して、結果につなげることについて意識が低い。</li> <li>・苦手意識から、全力を出し切れない生徒が多い。</li> </ul> <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律に課題がある。運動種目によって見学生徒が多い。</li> <li>・身体能力が低い。</li> </ul> | <p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心と体の関連について指導を深め、プロセスを重視する授業展開を行う。</li> </ul> <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操を工夫し、体力向上を図る。</li> </ul>   |
| 技術・家庭   | <p>(技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンやタブレット端末の普及により、キーボードによる文字入力やマウスの操作、パソコンの基本的な取り扱いができる生徒が減ってきている。</li> </ul> <p>(家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出する課題に対して意欲的な生徒と意欲がない生徒の差が大きい。</li> </ul>                                   | <p>(技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンならではの作業(マウスやキーボードのショートカットをしようしなくてはできない作業)を多く取り入れる。</li> </ul> <p>(家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関する身近な情報を取り上げて関心を持たせ、学習意欲を高めるようにする。</li> </ul> |
| 外国語(英語) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈に応じて、自分が伝えたいことを外国語でアウトプットすることが苦手な生徒が多い。</li> <li>・外国語表現をするための語彙が少ない。</li> <li>・即興で外国語表現をすることが苦手な生徒が多い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話の表現を事前に指導した後、ペアで英会話をする活動を行う。</li> </ul>  |